

「食品表示法」施行に向け、原料原産地表示チェック機能を追加 ～加工食品メーカー・スーパー向け、食品表示ラベル自動作成ソフト～

- ◆ フジサンケイグループの(株)エフシージー総合研究所(東京都江東区/社長: 小櫃眞佐己)は、食品メーカーやスーパーなどで使用いただいている、食品表示作成を自動化するソフト、「食品大目付 そうけんくん」に、9月2日から、新たに原料の原産地表示をチェックする機能を追加します。
- ◆ 自動化ソフトを使用しない場合、使用するすべての原材料を食品素材と食品添加物に分けてそれぞれを重量順にリストを作成。さらに原材料に含まれるアレルギー物質や遺伝子組み換え食品の有無の確認など、人手を介して10以上の手順を踏む必要があります。しかも、「JAS法」「食品衛生法」などさまざまな法律に従って表示を行わないと、食品表示違反となって商品の回収・公表を求められます。
- ◆ 「食品大目付 そうけんくん」を導入いただくと、食品のレシピを専用画面に打ち込むだけで、法令に基づいた食品表示と栄養成分表示のラベルが自動的に打ち出されます。たとえば、にぎり寿司7貫の弁当の表示作成では、手作業だと3時間かかるものが30分程度に短縮可能です(弊社、栄養管理士による実証実験より。※食品により作成時間はそれぞれ異なります)
- ◆ 本年6月28日に公布された「食品表示法」では、食品の表示に関する制度を一元化し、その中で栄養成分の表示を義務化しました。今後2年以内に施行することになっています。これに伴い、加工食品の原材料について原産地表示の義務付けが現在の22食品群から順次、拡大すると見られます。
- ◆ 「そうけんくん」の導入先では、今後、原産地表示が義務付けされる食品群が増えた場合でも、該当する食品群を自動的にチェックするため、人手を介した確認作業が不要になり業務の効率化につながります。また、添加物に対して厳しい基準を設けている特定の生協やコンビニ向けの製品のために、ユーザー独自基準設定による添加物チェック機能も使えるようにしました。
- ◆ このほか、クッキーの詰め合わせなど、種類の違う製品が混ざったものでも、それぞれについて原材料名表示を作成できる機能も追加しました。エフシージー総合研究所では、一層皆様のお役に立てるよう「そうけんくん」の改良・改善に努めてまいります。

【お問い合わせ】 株式会社エフシージー総合研究所
東京都江東区青海 1-1-20 ダイバーシティ東京オフィスタワー6F
☎ 03-6891-8501 広報担当 : 大島

エフシージー総合研究所について

(Fujisankei Communications Group Research Institute, Inc.)

弊社は、フジサンケイグループの調査・研究機関が統合され、1985 年 9 月に誕生しました。企画開発部、暮らしの科学部、情報調査部、管理部の 4 セクションで構成されています。このうち、ユニークな理系の専門家集団である企画開発・暮らしの科学部門は「フジテレビ商品研究所」(通称)として、消費者・生活者の視点で日本人の生活・暮らしを科学・研究し、その成果を消費者、企業、メディアに発信し続けています。もう一つの柱である情報調査部門は、Fujisankei Communications Group のメディアグループ機能を最大限に生かし、一般企業や各種団体の広報活動を支援する独自の企画で高い評価を得ています。

□企画開発部

書籍・パンフレット類の企画制作、各種商品の取扱説明書、タイアップ広告の制作などのほか、新聞や雑誌へ生活記事も発信。HP の制作、デジタルデータ・コンテンツの管理運用などデジタルメディア関連の業務にも携わり、食品表示作成システム「食品大目付そうけんくん」の開発・運営も行っている。

□暮らしの科学部

料理レシピの開発、化粧品の効果の測定から繊維、洗剤、日用品、家電製品の性能検査や品質管理まで「暮らしに関わるいろいろ」が専門。実験や調査で得た商品情報や暮らしの情報をテレビ番組で放映、新聞・雑誌に掲載するなど幅広く発信しており、一般企業からの多様な受託業務は消費者と企業を結ぶ架け橋の役割も果たしている。

□情報調査部

会員制の広報勉強会「フジサンケイ広報フォーラム」を毎月 1 回、講師を招いて開催、会員相互の情報交換の機会も提供している。このほか、5 週間にわたる新人広報マン夏期講座や広報エグゼクティブセミナーなど各種セミナー、現役の記者らによる模擬記者会見が中心のメディアトレーニング、出張広報勉強会などを開催している。

会社概要

社 名	株式会社エフシージー総合研究所
所 在 地	東京都江東区青海 1-1-20 ダイバーシティ東京オフィスタワー6F
設 立	1985(昭和 60)年 9 月
代表取締役社長	小櫃眞佐己
株 主	(株)フジ・メディア・ホールディングス、(株)産業経済新聞社
URL	http://www.fcgr.co.jp/